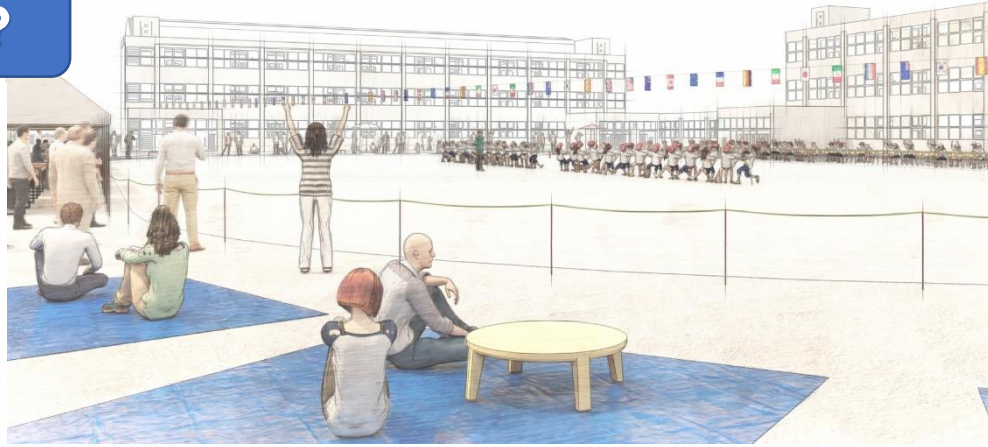


# 地域学校協働活動って？

コミュニティ・スクールが設置される話とともに『地域学校協働活動』という言葉が耳にするようになりました。地域学校協働活動ってどんなことなの？今まで私たちがしていた地域活動とは違うの？

仙台市教育委員会生涯学習部生涯学習課主幹兼社会教育主事の勢藤先生にお話を伺って参りました。



## 地域学校協働活動とはどんなものなのでしょうか？

文部科学省が定義する地域学校協働活動とは、「地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して、学校と地域が相互にパートナーとして、同じ高さに立って連携協働して行う様々な活動」となっています。難しく見えますが、既に皆さんの地域ではPTA、子供会、児童館、市民センター、学校支援地域本部、放課後子ども教室、マイスクール（大人の社会教育の場）、社会学級、親父の会、町内会などの活動があると思います。そのような活動が単体で動くのではなく、それぞれが協働し子どもたちや地域を支えていく、それがまさに「地域学校協働活動」です。

## コミュニティ・スクールとの関係性は？

コミュニティ・スクールは「学校運営協議会という合議体を設置した学校運営の仕組み」です。そこで協議された内容を具現化し、実際に活動していくのが地域学校協働活動です。

仙台市では、すでに学校支援地域本部が設置され、大きな役割を果たしています。それぞれの地域の実情に応じ、学校を核とした地域づくりを実現するため、学校支援地域本部と各種地域団体や活動をつなぎ、顔の見える関係を作るとともに、状況に応じ無理なく緩やかに集まる『この指、止まれ』のネットワークを作りたいと考えています。そのネットワークを構成するのが「地域学校協働活動」。つまり子どもにとっても大人にとってもよりよいコミュニティ・スクールを実現するために、地域学校協働活動は欠かすことのできない地域の財産なんです。

## 仙台市は地域学校協働活動を推進していきます

それぞれが単体で活動しているものを、学校運営協議会で協議された目標やビジョンをみんなで共有し、1つの目標に向かって進めていく、地域のあらゆる人たちの幅広い参画を得て、計画の段階から、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える。1つの意図・目標に向かって子どもを育てるためにみんなで集まった活動が、最終的に地域づくりにつながる。仙台市教育委員会では、「地域とともに歩む学校」を目指してコミュニティ・スクールを設置し、「学校を核とした地域づくり」を目指して地域学校協働活動の推進をしていきます。

—今ある活動を生かし、地域全体でビジョンを持ち、地域全体で子どもたちの学びや成長を支え、そしてそれが地域づくりとなる。仙台版コミュニティ・スクールと地域学校協働活動は、そんな素敵な未来ですね。わかりやすくご説明いただき、勢藤先生、本当にありがとうございました。

